

2025 年 5 月 9 日 第 3510 回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *元千葉ロッテマリーンズ選手・野球指導者 早坂圭介様
*米山奨学生 朴 栽潤様
*青少年交換留学生 Lualy Rehen HOFER TURCATO さん

<誕生月祝> *中村 正 (S.29.5.1) *徳永 良輔 (S.9.5.4)
*沼田 裕一 (S.31.5.10) *山田 哲也 (S.40.5.14)
*福島 康人 (S.18.5.15) *加賀本 好美 (S.42.5.18)
*根岸 文彦 (S.22.5.21) *権田 理司 (S.56.5.21)
*田邊 一三 (S.26.5.23) *児玉 信藏 (S.52.5.24)
*川名 稔 (S.33.5.27) *森 勇人 (S.21.5.28) 各会員

<入会月祝> *長尾 和典 *藤村 昌一 *伊藤 隆義 *齋藤 眞且
*小林 一博 *松本 好史 *浅葉 孝己 *田中 由紀子
*石田 裕樹 *E. Robinson *権田 理司 *川名 稔 各会員

<会長報告> *ガバナー事務所から
・ロータリーレート変更のお知らせ 5月1日より1ドル150円 ⇒ 142円
・ポリオプラスセミナーのご案内について
日時：6月 7日(土) 14:00～15:00
場所：第一相澤ビル3F 会議室
・ロータリー財団奨学生 オリエンテーション開催のご案内について
日時：6月14日(土) 14:00～16:00 オリエンテーション
場所：第一相澤ビル8F 「会議室」
17:30～ 壮行会 場所：萬珍樓本店

<米山奨学生へ奨学金授与> 会長より朴 栽潤様へ

<青少年交換留学生へ小遣い授与> 会長より Lualy Rehen HOFER TURCATO さんへ

<委員長報告> *雑誌委員会 杉浦委員長よりロータリーの友5月号の紹介
*出席委員会 角井副委員長から4月分出席報告 4月分平均出席率 79.04%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
4月 4日	112名	105名	77名(3名)	28名	12名	83.96%
11日	112名	104名	68名(2名)	36名	15名	77.57%
18日	112名	106名	72名(3名)	32名	15名	82.08%
25日	112名	99名	59名(3名)	40名	15名	72.55%

<幹事報告> *例会終了後 現次委員長会議開催(例会場)
*プログラム及び週報のペーパーレス化のトライアル

<出席報告> *出席委員会 角井副委員長から5月9日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
112名	104名	76名(6名)	28名	4名	76.92%

メイクアップ：大野(忠)、椿両会員 横須賀西RCチャリティコンサート出席
大野(健)会員 横須賀 RAC 出席 小澤会員 地区セミナー出席

<ニコニコ報告>

- ・三 役 元千葉ロッテマリーンズ選手 早坂圭介様、ようこそ横須賀RCへ！プロ野球のお話を聞けるのを楽しみにしています。卓話宜しくをお願いします。

- ・岡田 隼、梁 井、川 名、井 上、江 口、角 井、植 田、
前 田、勝 見、齋藤 眞、徳 永、北 村、濱 田、小佐野、柴 田、
澤 田、田 中、権 田、萩 原、田 邊、森、鈴木 豊、杉 浦 各会員
元千葉ロッテマリーンズ選手 早坂圭介様、ようこそお越しくございました！卓話も楽し
みにしておりますのでどうぞよろしく願いいたします。
- ・三 役 米山奨学生 朴 裁潤さん、青少年交換留学生 ルアリーさん、本日の例会もごゆっく
りお越し下さい。
- ・八 巻、植 田、齋藤 眞、鈴木 健、濱 田、三 井、小保内 各会員
米山奨学生 朴 裁潤様、青少年交換留学生 Lualy Rehen HOFER TURCATO さんようこ
そお越しくございました。ごゆっくり例会をお楽しみください。
- ・徳 永、根 岸、権 田、田 邊、川 名、森 各会員 誕生月祝いとして
- ・長 尾、藤 村、齋藤 眞、小林 (-)、田 中、権 田、川 名 各会員 入会月祝いとして
- ・2 番テーブル小林 康 マスター、小林 (-) サブマスター 4 月 2 5 日、甲羅本店にて 2 番テーブルミーティ
ングを開催しました。高橋会長をはじめ三役揃ってご参加いただき、とても楽しい会と
なりました。小澤会員チーズケーキのお土産ありがとうございました。
- ・前 田、杉 浦、谷、小山 陽、兼 城 各会員 2 番テーブルミーティングを甲羅で開催しました。
久し振りの甲羅で美味しい料理とお話に花が咲きました。小林康記マスター、小林一博
サブマスターありがとうございました。
- ・竹 株、児 玉、大 石、加藤 博、木 村、山 下、齋藤 健、梶 木、長 尾、
鈴木 健、齋藤 眞、濱 田、 齋藤 眞、瀬 戸、小山 陽、真 野、高 橋 各会員
三浦学苑の皆さん、春季高校野球 神奈川県大会お疲れ様でした！惜しくも準決勝で敗
れましたが、堂々たる戦いぶりに大きな「感動と元気をいただきました。夏の大会での
飛躍を応援しています。
- ・比 護、小林 (-)、松本 博、吉田 久、岡田 健、野 坂、物 井、角 井 各会員
5 月 2 日のタウンニュースに小山美智恵会員が神奈川県建築士事務所協会横須賀支部の
初の女性支部長に就任したとの記事が掲載されました。ロータリーも含めてますますの
ご活躍に期待しています。
- ・小山 健 SAA ニコニコを入れていただきありがとうございます。記事ではずいぶん意志が強くて努力
家の人物像となっていますが、かなり盛り気味です。単語のチョイスひとつで印象が変
わり、ペンの力は、怖いと思いました。

<卓 話>

「プロ野球と人生」

元千葉ロッテマリーンズ選手・野球指導者 早 坂 圭 介 様

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました早坂圭介です。本日は横須賀ロータリークラブという素敵な会にご招待いただき、本当にありがとうございます。

僕は18歳まで横須賀で育ちました。18歳でなんと千葉ロッテマリーンズという球団が僕をドラフトにかけていただき、ドラフト8位で入団することとなりました。2003年入団した当時、壁の高さを肌で感じて1～2年でクビになると思いました。小中高まで練習も大嫌いで、センスだけでやっていて、プロに入って壁にぶち当たって、これはもう無理だと肌で感じたのがプロに入ってから第1回目でした。その時に、広島東洋カープの高橋慶彦という指導者がロッテに入ってきました。その方が「お前ら野球好きか」と第一声で言われ、僕とドラフト1位の西岡剛という選手が、何も悪いことをしていないのに寮長室に呼ばれて怒られました。何で怒られるんだろうと思ったら、「野球に集中してない」、「お前ら遊びの方が第一優先なのか」と言われました。その方との出会いが、僕の運命を大きく変えてくれました。高橋慶彦という人がいなかったら、多分12年間も千葉ロッテでプロ野球をやることはできなかっただろうと思います。ただし、高橋慶彦という人は練習の虫です。もうほとんど寝ていないに近いくらい僕はバットを振りました。人生で初めて、こんなにバットを振って、箸も持てない、フォークも持てない。飲みに行っても女の子と喋る気力もないような、いろんな経験をさせてもらいました。「遊びは逃げない」と言われたのは今でも鮮明に覚えています。



プロ野球選手はすごく華やかと思うかもしれませんが、実はよくよく考えたらそうでもないなと思いました。給料は高いかもしれないけど、税金で持っていかれまして、給料入ったら給料日前まで何も計画を立てないで使ってしまったりなど、いろいろな経験をしました。

プロ野球選手はすごく華やかと思うかもしれませんが、実はよくよく考えたらそうでもないなと思いました。給料は高いかもしれないけど、税金で持っていかれまして、給料入ったら給料日前まで何も計画を立てないで使ってしまったりなど、いろいろな経験をしました。

僕は横須賀から出てきて、ちょっと調子乗って関東気質を出していたら、大阪桐蔭、関西出身のドラフト1位の西岡剛が関西弁で僕に喧嘩を売ってきました。日本ハムの鎌ヶ谷という2軍の施設でお互い殴り合いの喧嘩をして仲良くなりました。やっぱり僕自身の性格上、陰口が嫌いで面と向かって来てくれた方が僕にはウェルカムだったので、その後何も謝ることもなく、1週間後、寮にあいつが来て、「圭介、行こうか」と誘われて初めて寮を抜け出しました。千葉ロッテの寮は埼玉の武蔵浦和というところにあります。初めて寮を抜け出してタクシー乗って渋谷に行きました。渋谷に行ったらやっぱり田舎もんですから、すごいビルとかいっぱいあって、楽しいなと思って西岡といろいろとやっていたら、ある方から連絡をいただき、「新宿来い」と言われました。新宿に行ったら、2丁目というところに初めて呼ばれて、男たちと飲むことになってしまいました。先輩から注がれた酒はほぼ一気ですし、酒は全然飲めなかったので、フラフラになりながら朝ゴミ捨て場で寝ていた記憶もあります。高橋慶彦からちょっと話がずれてしまったんですけど、高橋慶彦も飲みが大好きです。女も大好きです。「やることをやったら好きに遊べ」という人でした。

僕と西岡はどちらも足が速くてスイッチヒッターで内野手で外野手。僕は外野手は途中からでした。2009年だったか、メジャーから井口さんという方がロッテに来る時に、前年度レギュラーを張っていた人がレギュラーじゃなくなりました。その時にまた、どうしても埋められない壁ができてしまったなと感じました。現実試合に出るところがない。ファーストには福浦和也、セカンドには井口さん、ショートには西岡、サードには今江さんで、内野だけじゃ出る場所がなく、「これはちょっと待てよ」、どうしたらいいんだろうと考え、キャンプ中に監督室に行って、ボビー・バレンタイン監督に、「外野もやらせてくれ」と僕は言いました。するとボビーは、「ナイスアイディア」と言ってくれました。僕は、スイッチをやっている、人一倍やらなきゃいけないのに、守備も内野と外野をやらなくちゃいけない。人一倍やらなくちゃいけないということで、キャンプ中、宿舎に帰るのは僕だけいつも9時10時でした。監督やコーチには、「指導者は付き添ってやれ」と言われているんですけど、僕は「来るな」と言いました。一人でやりたい性格で、僕自身一人で黙々と何か考えてやるのが好きだったので。

そういうキャンプを何年も続けて、12年間という長い期間、ロッテにいる間、怪我も多く、肉離れしたり、膝の靱帯、内側外側の靱帯を切ったり、肩の腱板を切ったりとか、いろいろなことをやったんですけど、昔の人は痛み止めで、骨折しても出ていましたし、そういった先輩の姿を見て僕は育ちました。単純にそれを見てカッコいいな、やっぱりレギュラーを張る人、一軍にいる人、違和感があって休むとか一切言わない人、そういう選手たちがすごくカッコよく見えましたけど、今は野球界もどんどん変わってきているらしいです。

指導者はそのうちいなくなると思います。指導者たるもの、いろいろ言葉を選ばなきゃいけないけど、愛情を持っていたら怒ることだって絶対あると思うんですよ。僕がロッテに入って初めてしばかれたのが楽天の監督だった今江さんです。PLからロッテに来た人に殴られたんですけど、僕はそこで何か親に言うとか一切なく、すぐ謝りました。今となってはすごく可愛がってくれています。世間では（指導者から）殴られたっていうのが、なんでこう大きく取り上げられるんだろうと、僕にはちょっと理解できなくて、テレビなどでも見させてもらうんですけど、たぶん、指導者が辞めていくのは、これから増えると思います。言葉を選ばなきゃいけないとか、この世の中から会話がなくなってしまうんじゃないかって思ったりもしています。

ロッテ時代に高橋慶彦という人が言ってくれました。「遊びは逃げない」「この世の中、男と女しかいない」と言われた時に、僕はその言葉がすごく耳に入ってきたんですね。高橋慶彦という人に「ちょっと来い」と言われ、自分の事情を説明したときに、「野球も家族も一緒だ。大切な人を守るもの。野球のことを嫌いになったんじゃないか？」と言われたときに、正直、辞める2、3年前は野球が嫌いになっていました。やっぱり自分で思うようにいかない。自分の思うようなプレーができない。そういった時にサブ的なことで仕事をするのが好きじゃないので、当時二軍監督の元ベ이스ターズの二軍監督もやっていた青山さんに、「俺のことに気をつかわないで若いやつをどんどん出してあげてください」と言いました。青山さんは「それで良いのか」と言われましたが、若い子たちに出るチャンスをどんどん経験させてあげたいし、僕は「何かあったら最後の守備固めでも行きますよ」と本当にいぶし銀みたいな感じで、最後の2、3年はやらせてもらいました。

実際、ロッテで12年間やらせてもらって、人との出会いが僕の今に至っていると思いますし、今こうして横須賀ロータリークラブの岩崎さんなどいろいろな方と出会わせてもらって、本当に人とのつながりというのが、僕の人生の中ですごく大きいなと思います。

何十年かぶりに横須賀に帰ってきて、今40歳なんですけど、何をしようかとずっと考えていました。野球指導者も去年までです。千葉の独立リーグの監督もやらせてもらいましたが、2年間でクビにされました。別に何も問題は起こしていません。ただ、いろいろと野球をやっていく上で、今、少年野球の子どもたちを見ていると、野球が嫌いになっているんじゃないかな、と感じています。小学校の時は時間があったら、公園に行って友達同士で野球をやったり、そういうところからスタートなんじゃないのかな、と思うんですね。小学校の野球チームに教えに行くと、いまだに怒鳴ってたりしているんですけど、正直、小学生に怒鳴っても分からないし、泣くだけだと思います。僕も泣いていましたが、中学、高校と年を重ねるごとに分かってくるんですよね。小学校の時、本当に野球が好きで、プロ野球選手になりたいって思っていました。中学校ではいろいろなことで親に迷惑をかけましたが、高校になって野球に集中しようと思い、野球に集中していたら、見ている人は見ていてくれたのかなと。僕は本当に運があるな、と思いました。

今こうやってみると、横須賀という街は僕の原点でした。用もないのに、観音崎とか走水を走るのがすごく好きで、たまに駐車場に車を止めて一人でたそがれていたりします。横須賀って何もないかもしれないですけど、すごく良いところだなんて本当に思います。

そういった中で、自分自身、12年間プロ野球選手というのものもあるかもしれませんが、横須賀で皆さんの力添えができるようなことがあれば、いろいろなことを考えています。僕の人生は出会いだと思っています。街で会ったら気軽に声をかけてもらって構わないですし、またこの後も、高校生には教えられないんですけど、小学生、中学生など、子どもたちに教えてあげたり、先ほどJ:COMさんも言ってくださったんですけど、何か解説とか自分ができることがあればやっていきたいな、と思いますので、皆さん、今後とも是非よろしくお願いいたします。